

# We Love インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合 Internet People

先月号からリニューアルしたこのコーナーは、インターネットピープルの皆さんが作るページです。話題のインターネットピープル、ネットワークのこぼれ話、CU-SeeMe大会など、読者の皆さんの投稿と編集部が日頃の取材で集めたネタから旬の話題を提供します。

**Let's Access!!**

## Gallery デジタルカメラ写真展

先月号から始まったこのコーナーでは、デジタルカメラで撮影した「インターネットなもの」を展覧します。

**あなたの足元にもインターネットが忍び寄る!**

進呈  
300,000  
プラス



**タクシー車内で仰天!!!**  
出張ではるばる東京まで出てきて、こんなステッカーを見つけたので、思わずカバンに入れていたデジタルカメラのシャッターを押してしまいました。ちなみに「タックン」とはタクシードライバーのことらしいですが、私が乗ったタクシーの運転手は「タックン」というには程遠く、まさに「運ちゃん」という感じの初老の男性でした。「タックン」がホームページをつくるなんて、東京ってすごい所ですね。(吉村晴海)



これが「タックンのホームページ」。そのニックネームとは裏腹に、コンテンツはしっかりしている。  
**URL** <http://www.taxi-tokyo.or.jp/>

**投稿大大募集!**  
テーマ「猫も杓子もインターネット」  
あなたのまわりにある「え、これもインターネットに関係あるの?」とびっくりしたものをデジタルカメラで撮影して、画像データをコメントや説明とともに編集部までお送り下さい。画像形式はJPEG(推奨)、GIF、TIFのいずれかを使用し、メールにファイルを添付してお送り下さい(メール1通につき画像は1つ)  
宛先は [ip-box@impress.co.jp](mailto:ip-box@impress.co.jp)  
投稿していただいた方には高額ダイレクトプラスを発行します。

# Shouting!



## 今月の高座

Uchida Masatomoさんの  
「ど~なってるの?」

12月号の「インターネット体験ゾーンガイド」に、所沢にインターネットカフェができたことが載っていました。無休と書いてあったので、さっそく発売直後の日曜日に乗り込むことにしました。地図が間違っ

ていたため、探すのに苦労しました。あげ句の果てには、ようやくたどり着いた店の前に「11月2日から4日まで休業」という張り紙が...。無休と書いてあるのに! いったい全体、ど~なってるの?

Uchidaさん、先日は当店にわざわざおいいただいたのに、当店の都合で休んですみませんでした。地図の電車の向きを逆にしてしまいました。今後は、このようなことがないように

スタッフ一同でがんばりますので、ぜひまたご来店下さいませよう心からお待ちしております。ご迷惑かけてすみませんでした。



インターネットスペースTRY!  
の五十嵐さん

# Chatting!

## 声を聞かせて

ブラジルの大学院生からメールをいただきました。42年前、彼の父親は私が住む岡岡市からブラジルへ渡ったそうで、私が作ったこの町のホームページを見ての感謝のメールでした。とても感激して彼の父親の実家へ電話を入れたところ、「元気に暮らしていることがわかってうれしい」とまたもや感謝されてしまい、こっちまでうれしくなりました。ただ、ポルトガル語で書かれた彼のホームページは全くわかりませんでした...。(神戸一)



12月号の「マッシー川口のfrom NewYork」に骨髓バンクの話題が載っていましたね。その中で未だに日本には骨髓バンクの公式ホームページがない、ボランティア団体のページも企画段階とありますが、確かに財団と全国協議会という骨髓バンクの顔になっている団体のページはありませんが、こういうことは草の

根のほうが圧倒的に早いですね。私も「どこよりも内容の濃い骨髓バンク情報をお届けするページ」を作りました。URLは、<http://www.sainet.or.jp/hisashi/>です。(寿)



私はタイ語を勉強しているのですが、インターネットを使ってタイに関する情報を集めています。ほとんどが英語表示ですが、タイ語表示のホームページも見つかったののでいろいろとトライしてみました。そして、ついにタイ語のフォントとワープロソフトをダウンロードできる場所を見つけました。さっそくタイ語のページを見ると、それまで文字化けしていたのが、ちゃんとタイ語になっていました。次は、タイ語の電子メールに挑戦したいと思います。(Hideki Takimoto)



11月号の「メールの暗号化」についての記事を読みました。インターネットメールのセキュリティについては、以前からよく雑誌の記事などで目にしていました。さっそく暗号化ツールを使ってみましたが、見事にハマってしまいました。とりとめのない内容のメールでも、嫌がる友人に暗号化して送信し、復号して読んでもらったり、仕事上の書面や資料などにも使用しています。二十数年前、子供たちの間で大ブームになった「スパイ手帳」。当時、私も持ち歩いていたので、その頃を思い出しました。(村崎安志)



## 投稿大募集

### Shouting!

- ・声を大にして言いたいこと
- ・...にもの申す!
- ・...に質問

### Chatting!

・あなたのインターネット体験記  
宛先は [ip-box@impress.co.jp](mailto:ip-box@impress.co.jp)  
投稿文にはダイレクトプラスを発行します。詳しくは409ページをご覧ください。

# INTERVIEW

あの人に会いたい!

## L.M.モンゴメリのページを開いている

梶原由佳さん(カナダのトロント在住)



Q: インターネットでホームページを開いたのはどんなきっかけだったんですか。

梶原: 94年くらいだったと思います。友達がやっていて、こんなページがあるんだよと見せてくれたのを読んでるうちに、そうか、今は個人でも情報を発信できる時代になったんだというのに気がついたので、私は図書館に勤めているんですけど、『赤毛のアン』に関する質問が異常に多い。私が日本人というせいもあるんだけど、なぜ日本人は『赤毛のアン』に興味があるんだって、年がら年中聞かれています(笑)。ちょうどそういうことを考えている時期だったので、『赤毛のアン』の作者L.M.モンゴメリならポピュラーだから、世界中の人に読んでもらえるんじゃないかと考えたんです。

Q: 梶原さんのページは、プリンスエドワード島(PEI: Prince Edward Island = 『赤毛のアン』の舞台になったカナダ東部の島)のページとか、Kindred Spirits(キンドレッド・スピリッツ: 『赤毛のアン』の中に出てくる言葉で、腹心の友という意味)というL.M.モンゴメリのホームページともリンクしていますね。

梶原: もともとは94年6月にプリンス・エ

ドワード島で第1回のモンゴメリ学会があって、そこでいろんな方と知り合いになったんです。そこで、インターネットで討論のできるような交流会をやりましょうという案が出て、Kindred Spiritsというメーリングリストを始めました。そうしたら、私のところにいろんな質問が来るようになって、いつの間にか質問に答えるおばさんの係になっちゃったんですね。こんなに質問があるんだったら、ホームページに書いて出しちゃったらどうだろうというので、ジェフ・ローレンスという男の子と組んで、彼がKindred Spiritsのサイトを作って、私がそれにリンクして「Lucy Maud Montgomery in Ontario」のページを出したんです。Kindred Spiritsでは、週1回チャットもやっていて、私はキーボードが遅いからなかなかついていけないけど、盛り上がっていますよ。

Q: Lucy Maud Montgomery in Ontarioというページのアイデアはどんなところから出てきたんですか。

梶原: プリンス・エドワード島は、州政府がインターネットに積極的にお金を出してい

L.M.モンゴメリ作の『赤毛のアン』も翻訳している作家の松本侑子さんが初めてインターネットにアクセスするのを手伝ったときのことだ。Yahoo!でモンゴメリに関するサイトを検索していて「Lucy Maud Montgomery in Ontario」という英語のページを偶然見つけた。読んでみると、作っているのはユカ・カジハラという人。さっそく日本語と英語でメールを出してみると、日本語で返事が返ってきた。梶原さんは、トロント市立図書館にある児童書の収集で有名なオズボーン・コレクションで働いているという日本人女性だった。しかし、どうして日本人女性がそこで働くようになったのか、そしてホームページを開くようになったのか、トロントでお話を伺ってきた。

て、PEI大学ではモンゴメリ関係の研究が進んでいます。でも、私はそれを見ていて、どうしてモンゴメリはPEIだけなんだろうって疑問があったんです。モンゴメリは結婚してからPEIを離れてオンタリオ州に移り住んでいましたし、そこで作品もたくさん書いています。それで、オンタリオ州を中心にした情報を載せてみようと思いました。

Q: 新聞でも取り上げられたそうですね。

梶原: 新聞にインターネットのレビューがあるんですけど、そこにすごくシビアな評が載りました。「この人はモンゴメリのファンでそれはそれでいいんだけど、モンゴメリがPEIで生まれたことなんか一言も書いてない」。本当はちょっとは書いてあるんですけど、メインがオンタリオのことだから、そういうふうを書いたんでしょうね。でも、PEIのモンゴメリについて書いているサイトは他にあるわけだから、実際には情報の取り方次第でPEIのこともオンタリオのこともわかるんです。私たち一人一人は何か出せるものを持っているんだから、それを少しずつ発信する。それがリンクしてウェブになっている。レビューを書い



た人の見方もあると思うけど、何のためのウェブが考えてほしいなと思います。

Q: ホームページを作るときは、どんなことに苦労されましたか。

梶原: 一番こだわったのは、写真です。写真を撮るのが上手じゃないから、たとえばモンゴメリが住んでいたレースクデールの牧師館の写真には、電線が入っていて、これはいけなと思って、フォトショップで全部消しました。ついでに、横に停まっていた車も消して、そういうことにやたらに時間をかけましたね。友達がスキャナーもソフトも持っているので、行ってやらせてもらいました。写真を見てから、あの牧師館に行った人は、何で電線があるのかなって思うかもしれません。そういう人がいてほしいですね(笑)。バラのミュージアムの写真も暗かったのでライティングで明るくしています。だから芝生が本当の色とはだいぶ違ってはいますが、まあ私のページだからいいんじゃないかと思っています。

Q: ところで、梶原さんが今トロントで暮らして、公立図書館で働くようになったのは、どんなきっかけからだったんですか。

梶原: 東京で知り合った主人がカナダ人だったので、88年にトロントに来たんです。当時は仕事もない上に英語もできなかった。それでぶらぶらしていたんですが、主人の友達で、オズボーン・コレクションで司書をしている女の子がいて、彼女の手伝いが必要だから行ってみたいかというのが最初です。What can I do for you? くらいは英語しかできないでぼーっとしていたのに、



梶原由佳さんのホームページ  
 URL: <http://www.oise.on.ca/~jnolan/yuka/yuka.html>



みなさんいい人で、いいわよいいわよって、いろんな仕事をさせてくださったんです。そのあと、試験を受けて正式に採用されて、現在までオズボーン・コレクションで働いています。

Q: 電子メールもよく来ますか?

梶原: 日本の方も見てくださっています。こうして東京から鈴木さんにも来ていただいたんですから。スウェーデンやデンマークの方からも、モンゴメリに関する論文を書きたいけど、資料はないかという問い合わせが来たりとか、北欧はけっこうインターネットが盛んなんです。とにかく問い合わせが多くて、今はEメールの返事を書くのに時間を取られている状態です。2、3日で100通超えます。でも、ずいぶん長いことページを変えてないからこの記事読んで見にくる人ががっかりしないようにこれから大幅に手を入れないといけないですね(笑)。

Q: お勤めのオズボーン・コレクションのページも作っていますね。

梶原: オズボーン・コレクションは、イギリスの図書館員だったエドガー・オズボーン氏が集めた児童書2000冊を基礎にしたもので、そのあとも、蔵書が増え続けていって買足していったって、世界でも有数の児童書のコレクションになっています。実は、私のところにあるページは勝手に作ったもので、図書館のほうから、そのまま開いて

おいてもいいけど、本格的にやるのはちょっと待ったほうがいいよと言われてるんです。公立図書館ですから、公式に始めるとしたら、いろいろと難しいことがあるんだと思います。オズボーン・コレクションの会員の方もお年寄りの方が多くて、私のホームページもプリントアウトして見せたんですけど、そのときはわーっと拍手が起きたんですけど、こういうのをオズボーン・コレクションでもやりましょうと言うと、全然反応がない。やっぱりインターネットがどんなものかわかっていなくて、プリントアウトするんだから、それなら本で出したほうがいいという感じなんです。

Q: 日本語のページも作っていますよね。

梶原: モンゴメリを知っているクラーク夫人というおばあさんに会いに行ったときの話を書いたんですが、レースクデールの牧師館をモンゴメリ記念館にするために、資金を集めているんだそうです。日本のモンゴメリファンの方にも協力していただければと思って、日本語のページを作りました。日本語のページはもっと増やしていきたいですね。インターネットは共通の話題の持った人が集まって、共同体が作れるような世界でしょう。『赤毛のアン』の主人公たちもPEIのアボンリーという限られたコミュニティに住んでいましたけど、我々もそういったコミュニティが作れるということで、インターネットは面白いツールだなと思います。(取材・文/鈴木康之)

# Research!

インターネット何でも調査隊が行く!

## インターネット体験ゾーンの ブックマークを探れ!

「インターネット何でも調査隊」は、ニュースなどでは解決できないインターネットについての素朴な疑問を、あなたに変わって調査します!

いまや市民権を得た感のある「インターネットカフェ」だが、どんな人がどんなことに使っているのかは意外と知られていない。今回、我々が「インターネットなんでも調査隊」は、インターネット体験スペースに潜入して、その実体の解明に挑んだ。取材は10月末、ホームページのタイトルはそのまま掲載した。

本邦初公開、これがインターネットカフェのブックマークだ!

### サーフスケプトーキョー

- ・ **いまどきの学校給食**  
<http://luna.vcnet.toyama.toyama.jp/ookawa/k-index.html>
- ・ **SMAPxSMAP Home Page !!**  
<http://www1b.meshnet.or.jp/ktv-SMAP/>
- ・ **ADULT ENTRY GATE**  
<http://www.bekkoame.or.jp/fairwind/adult/entry.html>
- ・ **ケッチャックダンス**  
<http://www.calley.co.jp/laterra/travel/bari/08.htm>
- ・ **山手線の回転寿司**  
<http://www2.gol.com/users/osamu/sushi/sindex.html>

奥のほうにはたくさんの本を持ち込み、なにやら熱心に調べている女性客の姿があった。また、チャットに励む若者もいた。

東京都港区赤坂4-8-13 安藤ビルB1  
TEL 03-5411-2889  
営業時間 13:00 ~ 21:00 (日、月、祝日は休み)

10月26日、週末にくずれると言っていた天気も予報がはずれ、抜けるようにすんだ高い秋空の下での収穫祭。モニターを見ていたとはいえ、現実の田んぼとの再会は田植え以来というメンバーの多くは、視界一面黄金色に広がるたわわに実った稲に感激。収穫の喜びを体で感じるイベントになりました。

集まった30人の中で経験者は1人だけという少々あぶない「パーチャル稲刈り団」を結成。まずはオーナーの作本さんを師匠に練習開始です。左手に株を持ち、鎌で一気に刈るのですが、師匠が「しゅぱっ」なら、弟子は「ざくざく」といった感じでまるで違うモノを刈っているようでした。次に6株ずつ束ねて、藁で縛るといって一見簡単な作業。のはずが、いざやってみるとなかなか難しく

### サウナ東京ドーム

- ・ **プロレスカフェ**  
<http://www.ijb.co.jp/talk/prow4.htm>
- ・ **超過激! 直輸入アダルト写真雑誌**  
<http://www.bekkoame.or.jp/tt23/>
- ・ **Penthouse Internet**  
<http://www.penthousemag.com/magazine/contents.html>
- ・ **カルト宗教 ヤバイ度 チェック**  
<http://www.ke.ics.saitama-u.ac.jp/kaoru/daily/cult.html>
- ・ **制服さま Returns**  
<http://www.ced.cas.ucc.ac.jp/h11154/Doc/Hobby/S/intro.html>

バスロブをはおって優雅な気分インターネットが楽しめる。男性専用で女性の姿がないため、ブックマークはアダルトページが中心。

東京都文京区後楽1-3-61 東京ドーム青いビル3階  
TEL 03-3817-6118  
営業時間 11:00 ~ 23:00 (月~土)  
11:00 ~ 23:00 (日、祝) 無休



## パーチャル 田んぼ通信 5

ついに稲刈りが終わる!  
URL <http://www.mmjp.or.jp/tambo/>



田植えから半年。ついに収穫の時を迎えた。

### 銀座ソニービル

- ・ **第29回AV研究全国大会**  
<http://www.avcc.or.jp/29taikai/>
- ・ **BAKA DOJYO**  
<http://202.26.217.66:8080/>
- ・ **Internet 1996 World Exposition**  
<http://park.org/>
- ・ **Lion's Den - Home Page**  
<http://mgmua.com/index.html>
- ・ **MAGAZINE SURF**  
<http://www.jmail.com/magazine/>

キーボードは使えないが、表示されている文字をカット&ペーストしてURLを組み立て、自分が見たいホームページにアクセスする強者(?)もいるという。

東京都中央区銀座5-3-1 銀座ソニービル4F  
TEL 03-3573-2371  
営業時間 11:00 ~ 19:00 (無休)

### テーマ大募集

インターネットなんでも調査隊では、あなたの「見たい、知りたい、聞きたい」を応援します。どんなくだらないことでも結構です。  
・こんなことを調べてみて  
・これってどうなってるの?  
宛先は [ip-box@impress.co.jp](mailto:ip-box@impress.co.jp) まで

やわらかい紐になれている都会人にとって藁はざいざい強いものです。師匠はというと「稲を束ね、とんとんと揃え、くると返してきゅっと結ぶ...」むむっこれではまるで茶の湯の作法ではないか。ほとんど淀みのない連続技でぼんぼんと束ねていきます。この日は天日干しの櫓(馬)を一騎仕上げて終了。翌日は昨日の熱心な練習の成果が作業は順調に進行し、作本さんが用意してくださった「炭火焼きバーベキュー」と「ひのひかりの飯」で昼食です。さわやかな気候も手伝って作業ははかどり、午後4時に終了。できあがった天日干しのある懐かしい田んぼは、コンバインで刈り取ったすっきりとしたご近所の風景のなかでしっかり浮き上がっていました。

(石川コオ)

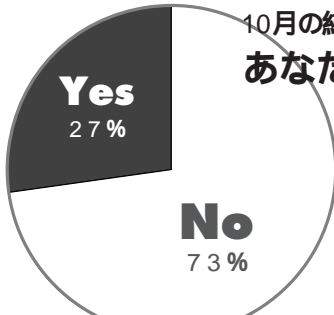
# Thinking!

インターネットマガジン世論調査



10月の結果発表

## あなたは支持政党をもっていますか?



10月1日から19日まで、先の衆院選選挙に対する意見を何でも集めてみました。以下はNo(支持政党はない)の人のご意見です。このほかの意見はWWWでご覧ください。

既存の政党に魅力を全く感じない。理由は自分たちのしていることと、言うことに責任をとらないし、対外的に信用してもら

えないような行動ばかりとっていることに不信感を拭えない。

(男性 36歳 タクシー運転手)

「棄権も“投票”である」という意見には賛同しかねるのだが、ここまで投票すべき政党がないというのも悲しすぎるものがある。

(男性 22歳 会社員)

今回の選挙のポイントの一つは「消費税率」だが、その内容が良い悪いは別にして、各政党ごとに統一した見解を貰ってもらいたい。政党の構成がめまぐるしく変わって

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>

いく中で、方針さえ定まらない政党をだれが信用するだろうか。

(男性 27歳 会社員)

最近は政党自体が変化し続けているので、どこを支持すればいいのかわかんないですね。どの政党も票あつめの公約ばかりかかげてるし。

(男性 26才 会社員)

次回のテーマ **あなたは公的介護保険制度の導入に賛成しますか?**

# My Home Page

自薦ホームページPRコーナー

「Java Chat」

URL <http://village.infoweb.or.jp/fwgh4581/sanki/>

JavaScriptを用いて、快適にチャットできるように工夫してみました。遠くに住んでいる友達なんかと連絡するときに使っています。多くの方の参加をお待ちしていますので、ぜひ一度いらしてください。

(西口三喜)



バーチャルNZトラベルをあなたに

URL <http://www.dtinnet.or.jp/uye>

2回のニュージーランド旅行で得た情報のホームページです。個人旅行のノウハウと現地でのアウトドア体験とを紹介しています。初めてのフライ・フィッシングで釣った65cmのニジマスや南十字星など多数の写真があります。

(植村吾彦)



小中学生にも解ける大学入試問題

URL <http://www2.gol.com/users/nekopapa/sugaku/>

小中学生のみさんでも、ちょっとした知識があれば解くことのできる大学入試問題(数学)を集めています。予備知識となる話なども用意してあります。ちなみに最年少の正解者は小3の男の子です。

(藤井健二)



Java言語によるRPG

URL <http://wwajp.com>

Java言語によるインターネット指向型ロールプレイングゲーム「World Wide Adventure」を公開しています。ただ単にロールプレイングゲームが遊べるというだけではなく、ユーザー自身が作り手となって、無限にゲームの世界を広げることができます。ぜひ、一度遊んでみてください。

(Nao Watanabe)



日本製の機械式腕時計

URL <http://www.threeweb.ad.jp/tmiyata>

今から15年~30年ぐらい前の日本では、手巻き式あるいは自動巻き式の機械時計がたくさん作られていました。1950年代から1970年代に作られた腕時計を、年代別に写真をまじえて紹介しています。自慢の腕時計がありましたら、「自慢の腕時計」というコーナーで紹介することができます。(Tatsuo Miyata)

WANTED!

アクセス増加は必至! 自慢のホームページをこのコーナーで紹介してみませんか? 自作ホームページのURLにコメントを添えて **ip-box@impress.co.jp** までご一報を!





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)